

平成30年度当初予算

市民との協働により
「日本一しあわせなまち」を

一般会計予算額 283億8,000万円

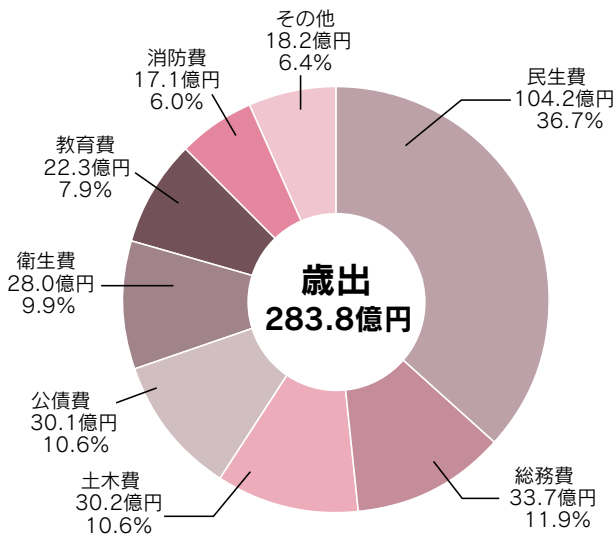
[前年度比 ▲5.8%]

平成30年度予算が、3月に行われた市議会定例会で可決されました。

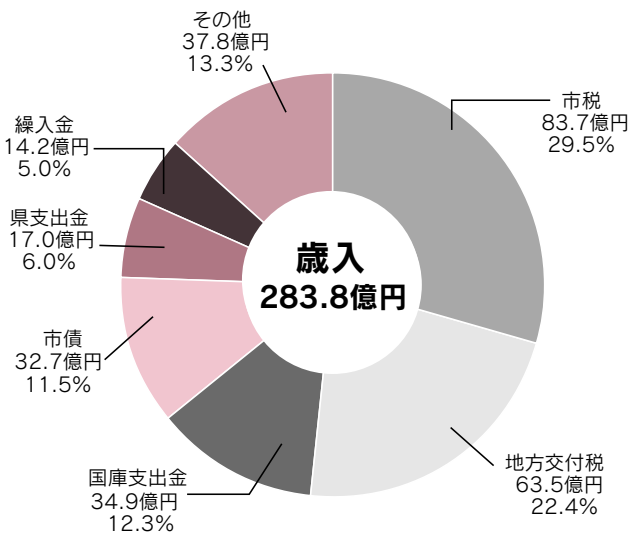
前年度に行った市債の繰上償還の減少などにより、平成30年度予算は前年度と比べ規模が縮小しました。新たな事業として、循環型社会構築のための地域新電力会社の設立や、旧秩父セメント第1プラント跡地への企業誘致に向けた市道整備、こども医療費の対象年齢拡大など、住み続けたいくなる秩父を創る事業を盛り込みました。

「日本一しあわせなまち」を築くため、満足度の高い市民サービスの提供を進めていきます。

一般会計の歳出



一般会計の歳入



一般会計予算の概要

【歳入の概要】

歳入では、固定資産税の減収などが見込まれるため、市税全体ではわずかに減収を見込みました。市にとつて重要な収入である地方交付税は、合併特例措置の縮減などにより減少傾向にあります。

【歳出の概要】

民生費では、子育ての負担を軽減するため、こども医療費の対象年齢拡大や、市内の認定こども園の整備に対する補助金を盛り込みました。総務費には、移住促進により人口増を目指す「秩父版CCCRC推進事業」などを計上しました。土木費には、旧秩父セメント第1プラント跡地へ企業誘致を推進する道路整備事業や、教育費には、学校施設の改修事業や英語教育の充実などを盛り込みました。

【用語解説】

地方交付税…全国で同水準の行政を行うために交付される財源

市債…市の借入金

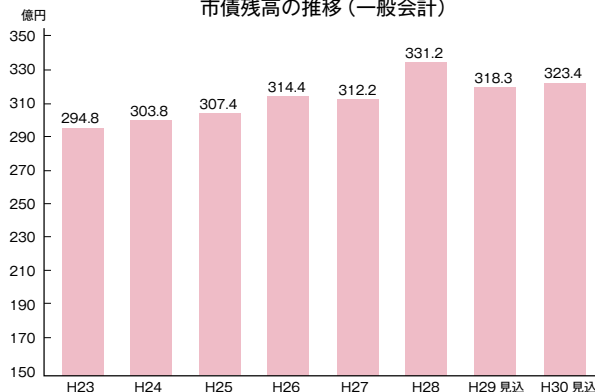
繰上償還…債務を減らすために計画より早く市債を返済すること。

その後の返済額が減り、将来の資金繰りに余裕がきます

【市債残高の状況】

30年度末の市債残高は約323億円の見込みです。防災行政無線システム整備事業の前倒し実施などにより、29年度末と比べて約5億円の増加となりますが、31年度以降は減少する見込みです。

市債残高の推移 (一般会計)



民生費…児童、高齢者、障がい者福祉のための経費や生活保護の経費

総務費…市の計画の策定や推進、内部管理、選挙等にかかる経費

土木費…道路、河川、公園などの建設や維持管理にかかる経費

公債費…借入金の返済

平成30年度 注目の事業

循環型社会を創る

●地域新電力会社設立事業【新】 〔3,511万円〕

再生可能エネルギーを活用した電力の調達・販売を行う秩父地域新電力会社を設立し、雇用の創出及びエネルギーの地産地消を目指します。

●省エネ家電買い替え助成金【拡充】 〔200万円〕

電気冷蔵庫を一定の省エネ基準を満たす製品に買い替えた市民に対し、定額2万円の助成金を交付します。

健康を増進する

●健康長寿埼玉モデル普及促進事業、秩父市版健康マイレージ事業【新】 〔370万円〕

筋力アップ教室の開催や体力測定など、「健康」に関する事業を展開します。また、各種健診や運動などへの参加者にポイントを付与し、特典を提供する「秩父市版健康マイレージ事業」を開始します。



筋力アップ教室の様子

子育て・教育の充実

●こども医療費給付事業【拡充】 〔2億624万円〕

こども医療費の支給対象を平成30年10月から高校3年生（18歳）まで拡大し、養育者の医療費の負担を軽減します。

●認定こども園整備事業 〔4億5,341万円〕

私立幼稚園の認定こども園化に向けた施設整備に対し、補助金を交付します。

●秩父一中・尾田蒔中改修事業【新】 〔2,499万円〕

秩父第一中学校の不具合箇所改修を実施します。尾田蒔中学校校舎の大規模改造工事実施設計業務を実施し、平成31年度以降の工事実施を目指します。

●英語教育強化推進事業【拡充】 〔3,850万円〕

平成32年度より小学校3年生から外国語活動が導入され、5、6年生は、週2時間の授業が行われることから、外国人の英語指導助手（ALT）を1人増員し9人とし、外国語活動コーディネーターとともに、英語におけるコミュニケーション能力の向上を図ります。

雇用・経済の活性化

●旧秩父セメント跡地対策事業【新】 〔2億15万円〕

旧秩父セメント第1プラント跡地への企業誘致を加速させるため、腰田堀に沿って市道（中央）632号線を整備します。

●秩父版CCRC推進事業【拡充】 〔2億8,714千円〕

サービス付き高齢者向け住宅を建設する事業者に補助金を交付するとともに、交流拠点施設を整備し、豊島区等都心からの転入を促進し、人口増を目指します。

●秩父ビジネスプラザ事業【新】 〔3,943万円〕

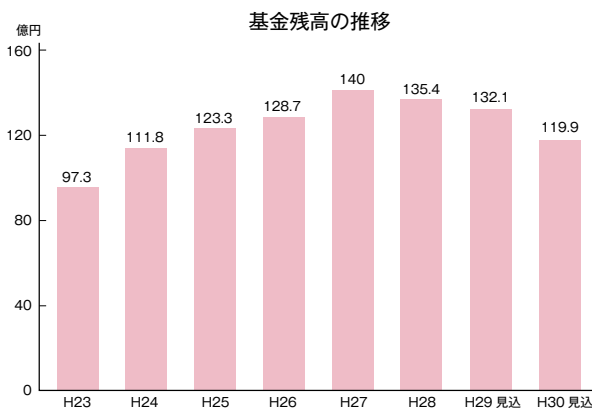
熊木町地内の市有建物を改修し、創業希望者や企業にお試しサテライトオフィスとして貸し出します。秩父ビジネスプラザを開設します。

安心・安全を守る

●防災行政無線システム整備事業 〔5億4,481万円〕

防災行政無線システムのデジタル化により、防災・災害情報の伝達体制を整備します。（2か年事業の2年目）

問 特別会計、企業会計の予算の概要は市HPでご覧いただけます。
財政課 ☎ 2212203



【基金残高の状況】
一般家庭での貯金にあたるのが「基金」です。市では、これまでに計画的に基金への積み立てを行い、財源を必要とするときに取り崩しています。28年度では本庁舎等建設事業の財源として、29年度では市債の繰上償還の財源として取り崩したため残高は減少しましたが、市民一人当たりの基金残高は、県内の他市町村と比較して高いレベルにあります。
今後市債と基金のバランスに配慮しながら、基金の使い道を決めていきます。